

名家連ニュース

平成 26 年 10 月 22 日 (水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 331 号

16日・17日

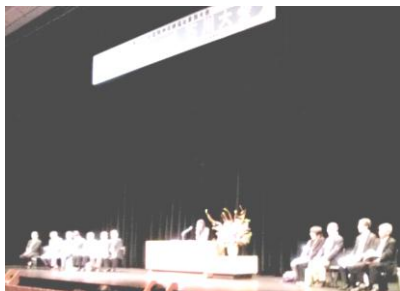
みんなねっと石川大会 1,000名参加！

感動・好評だった夏苺郁子氏（精神科医）講演



統合失調症の母のもとでの幼少期や学齢期の生育過程、家族関係の苦悩、翻弄されてきた日々、家族として精神科医としての葛藤、中村ユキさんとの出逢いを経て「私も家族の一人です」と言えるようになったこれまでの道のりは、家族に大きな共感と感動を与えました。

大会2日目－JRなど交通運賃割引全国運動の開始を確認!!



みんなねっと総会（本年 6 月）でプロジェクトチームの設置が決定。チーム座長の奥田氏（奈良県連）から検討会議の経過説明があり、全国運動開始のスタート台となる大会となった。長年の懸案事項解決への具体的行動は 10 月 31 日の理事会において検討されます。

制度間格差は、各地方自治体においても障害者医療費助成などに顕著に表れており、切実な声と関心が寄せられています。

医療費の 3 割負担は働いて収入を得るのが困難な本人には支払い能力がありません。家族にとって大きな経済的負担となり、また、本人の命と健康にかかわる問題となっています。現在、47 都道府県で手帳 2 級まで医療費全科全額無料となっているのは山梨県・岐阜県、20 政令市の中でも名古屋市など僅かです（※医療費助成制度は、他障害も含めて重度のみを対象にしている自治体、中度までを対象にしている地方自治体によって異なります）。

国連障害者権利条約及び条約批准に向けて整備されてきた国内法に照らせば、精神障害者を福祉制度の対象から除外するような行為は正当化されるものではありません。

第11回 名古屋市障害者スポーツ大会 バレーボールの部開催

10 月 21 日（火）名東スポーツセンターにおいて市内 14 チームが競技を競い合った。笑顔と歓声、一体感、一進一退の熱戦、各チームのバレーボール技術の向上に関係者から、感嘆の声が上がった。

試合結果は、名古屋サーティーン（同好者チーム）が昨年の覇者レッドアスリートナゴヤ（八事病院）に競り勝って優勝、

レタドル（親愛の里）が守山荘病院に勝って 3 位を獲得しました。レッドアスリートナゴヤは、長崎県で開催される第 14 回全国障害者スポーツ大会に出場します。堀田副会長が表彰、講評を行いました。名家連が他障害同等に名古屋市のスポーツ大会の主催者団体となって 3 年、大きく様変わりしました。

